

起業3年目までの
必要な知識が
10時間で学べる
オウンドビジネス大百科

オウンドビジネスの地図
～個人投資家編～

全編

玉井　：こんにちは、玉井です。

伊藤　：こんにちは、伊藤です。

玉井　：今回は、個人起業、雇われずに自分の力で飯を食っていく手段として、自分のビジネスを持つ。オウンドビジネスと我々は呼んでるけど。

伊藤　：オウンドメディアならぬオウンドビジネスですね。

玉井　：そう。そのオウンドビジネスの手段としての今回は「投資」について、詳しく喋っていきたいな、と。

伊藤　：はい

玉井　：で、ネットビジネス編と転売・せどり編の続きとして収録してるので、まだそっち見てない聞いてないって人はそっちも見てくださいと。まあ、一応この音声だけ聞いても理解できるようにはしゃべっていくんですけど。

伊藤　：うんうん。

玉井　：んで、投資編っていうことで、まあつまりは個人投資家、最近個人投資家を目指す若者とか増えてきてるけどさ。

伊藤：多いですねー。

玉井：まじで、それ自体はめっちゃええことやと思うんやけど。まあそんなね、そういう個人投資家という働き方。てゆか、投資っていうより投機よね、個人投機家、

伊藤：ほとんどみんな投機ですね。

玉井：そうそう。厳密にはね。だから、イメージとしては、短期でリスク取ってガンガン資産増やしていく、ギャンブルとかゲームに近いやつっていうか。でも、丁半博打みたいな、バカラみたいなもんじゃなくて、ちゃんと勝てるやつは理由があって勝ってる、負けるやつも負けるべくして負けるっていうような、そういう世界。っていう、どっちかというとそっちの投機寄りの話をするんやけど。まあ、投資と投機の定義はどうでもいいっていうか、投機と投資って切り離せやんからさ。

伊藤：そうですね。

玉井：言葉の定義の問題で、まあだからめんどいからここでは全部「投資」って呼ぶけども。あのー、まずやっぱり怖い印象あるやん、投資って聞くと。

伊藤：印象はそうですね。100万一瞬でなくなりましたとか、暴落で3000万消えて、借金返済で首が回りませんみたいな話がよく拡散されたりしてるからでしょうね。

玉井　：そう。だから、危ないとか、怖いとか、不安やみたいな第一印象持ってる人は多くて。で、別に危なくないとは言わんけど、必要以上に極端にそう思ってる人は多くて、そこに関してはちゃんと健全な認識にしたいなあってのはあるし。あとは怖いとかじゃなくて、怪しいっていうのもあって。投資詐欺とか、マルチと絡めたやつとか、で、そこに関しても知っておくべきことってのがあると思うんで、その辺の話もします。知らない人にとっては投資ほどね、怪しいもんじゃないからまじで。

伊藤　：まあ、ちゃんと理解してたら怪しくないってわかるはずですからね。

玉井　：そうそう。投資が怪しいんじゃないから。だって、世界は投資で動いてるんやから。

伊藤　：そうですね。

玉井　：投資自体は怪しいわけがなくてさ。だから、初心者的人は特に、それを分けて考えることができるかが大事で。やからゆったら、投資自体はとてもなく魅力的やしパワフルやし、世界経済なんて投資なくして成り立たないし、それはでも個人としてもそうで、起業力をつけるとか、まあつまり独力でお金を稼ぐ手段としてもめちゃめちゃ優れた手段になりうるよっていう、メッセージも伝えたいんやけど。だから、まずはそれをごっちゃにしてしまうことが危ない、ってことで。ほんとの投資の世界を知らないと、投資そのものを怪しいとかと思ってしまって、そ

う言う人って多くて、それで何が損するかって、不思議なことにそんなこと思ってる人ほど、怪しい人たちに力モられるやん。

伊藤　：ほんまにそうですね(笑)

玉井　：で、それは投資とか金融のリテラシーが低いからであって、広く言えばお金に対する知識がないから。

伊藤　：まあ、そうでしょうね

玉井　：うん。あとは、すでに自分のビジネスを持っている人に言いたいのは、じゃあその事業で得たお金を回すとなつたときにも、ものすごい機会損失をするんやと。

伊藤　：いや、ほんまに。正味考えたくないくらい機会損失しますからね。

玉井　：そやねん。だから、これはおれ自身めっちゃそうやつたし、もうめちゃめちゃ情弱やつたから、投資なんて何億って金作つてからやるもんじょ、って思つてたから。

伊藤　：わかります、わかります。それも知識がないから、なんとなく手を出してなかっただけなんですよね。

玉井　：そうそう。それでビジネスにおいてもめっちゃ有利な選択肢つてのを1つ盲目的に潰してもうてるわけやん。まあその辺はあとで話すけど。だから、どっちかと言

うと、みんなに広く当てはまるのは普通に投資詐欺とかのほうで。ってのも今若者がむちゃむちゃ力モられてて、えらいことなってるっていう。で、その辺はあんま掘り下げるとき大きな声では言えないような話になるんやけど、だからまあちっちゃい声でね。

伊藤　：ひそひそ声ですね。

玉井　：そう(笑) そういう色んな角度からの業界の裏話、ひそひそ話的なこともしていけたらなと(笑)

伊藤　：はい。

玉井　：で、あとはまあ、おれらはさ、伊藤ちゃんもそうやけど、別に投資を教えたりしてるわけじゃないからこそ、言えることってあるやん。

伊藤　：まあ、忖度抜きにして投資を語れるっていうところはありますね。

玉井　：うん。だから、おれらも投資やってるし、プレイヤーではあるけど、周りにもごっついやつとかおるけど、色んな情報も入ってくるけど、間違いなく一生やっていくと思うけど。

伊藤　：一生やりますね、これは。

玉井　：でも、別に今後そこでブランディングするつもりは一切ないし、知らんけどね。そんなこと言うて将来投資系の発信してるかもしれんけど(笑)まあいいや、「だから何も気にせず話せること」ってあるからさ。だから、ほんとにまっとうな投資家とかがね、どんな視点で何を考えて、っていう話とかもしながら、そういうおもしろい投資の世界、投機の世界、っていうのを聞いてくれてる人に健全に明るく理解してもらいたいなど。で、それはやっぱり毎回の動画で言ってるけど、大事なことやから何度も言うけど、これを聞いてくれてる人に、選択肢を広げてもらいたいから。

伊藤　：それが第一の目的ですね。

玉井　：やっぱり音声シリーズの目的っていうのはそこにあるから。知識がないことが原因で自分の可能性を狭めてほしくないし。そんなこというのも初心者の頃に、おれ自身も昔そうやったし、伊藤ちゃんもそうやったと思うねんけど。それがそれがネックというか、一番のネックやんか。昔、俺もそうやったからめちゃくちゃわかるねんけど。んで、後になってさ、自分で色々やれるようになってきてさ、途中途中で、「うわ、こんなんある」とか「これ先知ってたら良かったやん」とかって思うこと死ぬほどあ(笑)「誰か教えとけよ」みたいな(笑)だから、そういうつもりで聞いてほしいな、と。ネットビジネス編と転売・せどり編と、この投資編3つ聞いたら、ほんまにもう知識と

いうかゲシュタルトだけでいえば、間違いなくトップ1%は余裕で入るから。

伊藤：まじでそれですよ(笑) もう稼ぎ方とかは調べなくてもいいレベルで作ってますからね。

玉井：そうまじで。だから、ちゃんと理解すればね、個人で稼ぐとか、自分のビジネスを持つ、起業するっていう集合の中では、そりゃもちろん細かいノウハウとかは実践してるとんには、勝てやんけど、ゲシュタルトだけ、そういう広い知識としてはトップ1%なれるようになってるし。だから、多分後々配っていくと思うけど色々な体験談とか、色々なビジネスモデルを詳しく解剖したような資料とかもね、あるんで。それらちゃんと勉強してくれたら、まじで相当な力つくように作ってるんで。ほんとに必要な知識は、細かい枝葉は無理でも、骨格部分は全て、概論は全て伝えきるつもりでこの講座を作ってるんでね。

伊藤：ですね。

玉井：うん。なのでね、勿論軽い気持ちで聞いてもらつてもいいけど、それだけの熱量込めた、何かが変わるキッカケとしては十分な、凝縮されたコンテンツを届けてるつもりなので、同じ気持ちで真剣に何度も復習とかして勉強してほしいなど。

伊藤：そうですね。起業当初にこれが欲しかった！って思うものを作ったんで。

玉井：そうそう。俺らがあつたら良いなって思うものっていうのを形にしましたっていうのを作ったのでね。まあ、暑苦しいし、長々しい前提はこの辺にして、話していくんやけど(笑)

まず、「投資で稼ぐ」って聞くとさ、まあネットで調べたりすると、いっぱい出てくるやん。

伊藤：死ぬほどできてきますね。

玉井：FXがバイナリーが仮想通貨がみたいな、種類もあとでしゃべるけど、そういうスクールとかオンラインサロンとかいっぱいあるやん。

伊藤：うんうん。

玉井：で、初心者的人にとってまず何が一番もったいないかって、やっぱり「そういう人が投資の世界で稼いでいる本物なんや！一流なんや！」と、投資ってこういう世界なんや！」って思ってしまうことで。

伊藤：なんかネットで調べてもそればっか出てきますからね。

玉井：そうそう。だから中にはもちろんしっかりした人もいてるけど、まず視点として持ってほしいのが、

「その人は、ほんとに自分でトレードして投資で稼いでる人なのか？」

「それとも、トレードでは負けてるけど投資を教えることで結果稼いでる人なのか？」

もっといと、

「教えてすらなくて、投資関連の商品の集客販売代行とか、マルチで稼いでる人なのか？」

っていう。

伊藤　：めっちゃ核心付いていきますね(笑) でも、ほとんど後者でしょうね(笑)

玉井　：せやねん。でも、この3パターン見分けることが特にこれから始める人にとってはめっちゃ大事で。で、純粋に教えて稼いでるのは別によくてさ。だって、表に出てくる人っていうのは表に出る理由あっててるねんから、つまり商売としてやってるわけだ。だから、教えて稼いでること自体は良くてさ、真っ当にやってるならそれは教育事業であって、特に日本人なんて金融リテラシー低いんやから、学校じゃ教えてくれへんねんから、ええやん。でも、中にはさ、自分が実際にトレードで稼いでたらそれでいいんやけどさ、稼いでましたって過去形でもええよ、実績あるなら。ただ、そうじゃない人が投資の世界はむちゃむちゃ多い。そうじゃないってどういう意味かって、投資でまともに勝ったことないとかね、投資負けてるけど投資の商材売って稼いでるからトータルプラスです！みたな。だか

ら私は投資「関連」で稼いでますー！言い換えたる投資で稼いでますー！みたいなさ(笑)

伊藤　：(笑)

玉井　：まずは、これに注意する必要がアッて、もっとひどいのは、なんといつてもトレードなんて一切やってないそれを教えてすらない、っていう。でも、ネット上ではこれが一番目立ってる。どゆことかって、例えばさ、SNS上にさ、たまに出現してくるさ、自称バイナリーで稼いでる可愛い女の子とか。

伊藤　：いますね(笑) あーあとは、札束とかブランドもんとかバンバンSNSにだして、ギラギラ、オラオラした兄ちゃんとかね。

玉井　：そうそう。これ系はまじでやばいから。ほんま若者が引っかかりまくってるからこの辺からちゃんと説明するけど、あの、手口を(笑) あれって、あの、まず、ああいうバイナリーとかで稼いでるように見せるネット上の集団ってのがあるわけよね。で、彼らは、若くて金融リテラシーが低い子をターゲットにしてるから、だから若い子をああやってSNSで露出させて、そこから集客していくわけやん。

伊藤　：まあ、広告塔みたいな感じで出してる。

玉井　：んで、そうやって若い子集客して、毎日SNSで稼いでるアピールするわけよね、稼いでるから旅行来てますだの車買いましただの、今日はなんぼ儲けましたって収益画面のスクショとって。あんなもんフォトショでなんぼでも作れるから。

伊藤　：札束もレンタル札束とかもあるくらいですからね。言ったら程度的には、エロ雑誌の裏にあるような、札束の風呂入って、水着美女と写真載ってるみたいなレベルですよ(笑)

玉井　：そうそう(笑) 全くおんなじやねんけど、でもそっちには引っかからんくても、こっちには引っかかるからね、SNSとか普段から使ってるITリテラシー高い子でも男女問わず引っかかったりしてて。で、彼らは、SNS上で、個別なDMとかのやり取りに持ち込んで、リアルで会って、例えばアホみたいなツールとかを売りつけるわけよ。「自動で稼げるツールがあって、私もこれで月100は稼い よ」みたいな。んで、そうやって直接あって同世代の子にゆわれるとさ、ITリテラシー高くても金融の知識がないから、変なおっさんじゃなくて同世代の子に誘われてるから、まじか！ってなるわけやん。でも「いやお金ないです」みたいな。じゃあ、消費者金融いこかって、こんな機会ないよ、みたいな。ほんで金借りさせて、ツールが入ったUSB渡して終わりさよなら、みたいな。

伊藤：まじで消費者金融のところまで一緒についてきますからね(笑)

玉井：やり方がえぐいやん(笑) 風俗のキャッチとかボッタクリバーみたいな(笑) で、これのせいで、全体的に『バイナリーは詐欺、FXも詐欺、ツールは全部詐欺』っていう印象はあって、てゆか、それ引っかかった子は絶対そう思っちゃうわけやん。

伊藤：そう思っちゃいますね。

玉井：で、彼らの何が悪いのかって言ったら、『売り方がグロい、あとウソついてる、商品が粗悪』こういうところが悪いのであって。あとで言うけど、ほんとにツールでめっちゃ稼いでる個人投資家の人も中にはおるから。

伊藤：いますね。

玉井：だって、例えばゴールドマン・サックスとかもさ、トレードオフィスに昔は何百人ってディーラーおったけど、今は全員クビ切ってAIでトレードしてるんやから。

伊藤：今トレーダー3人らしいですからね。

玉井：そうそう。他のヘッジファンドとかもどんどんAIなってるからね。で、それって簡単に言えばヘッジファンドはツールで稼いでますよってことやから、だから良いツールってのは存在してるし、ほんとに一番優れたものが一般

に降りてきてるのかっていうのは、その議論は置いとい
て、市販でも良いものは確実にあって。だから、ツール＝
稼げないっていうのは違くて、その商品が粗悪だったんだ
よって話で。だから、この手口ってさ、例えばダイエットで
ゆったら、めっちゃスタイルいい子がおって。で、太って
る子を集客して、その子とあって、「わたしわかる。昔体
重100kgやってんー」言うて共感して、ウソついてるや
ん、お前昔から痩せてるやんっていう話で。「でも、なん
わたしがこうやって痩せたかっていうと。この最強の筋ト
レツールで痩せたねんー」言うて、筋トレグッズは別にい
いやん。

伊藤：筋トレグッズ自体はいいですね。

玉井：でも、中身はタダのダンベルみたいな、商品が粗
悪なわけよ。ほんで「絶対君も痩せるよ、私みたいになれ
るよ」って言って、太ってる子に消費者金融行かせてダン
ベル買わせるみたいな。それは売り方エグいやん。っていう。
まあ、そういう商売やと思ってもらえた、それをマルチと絡めてみたりね。あ、ちゃんと言葉厳密にしたいから
言けど、マルチ商法はねずみ講とは違うから別うくて。

伊藤：うんうん。

玉井：それ自体は犯罪ではないから、ただ消費者の不
利益になることが多いから規制されてるよーっていうものな
だけのもんやから。まあ、そんなことを悪意を持って、組

織的にやってる人たちがおるっていうことね。そういう連中は色々なもの使ってこんなことするから。

伊藤：そうですね。

玉井：昔やったら、健康食品とか高級羽毛布団やったりとか、謎の会員権作ってみたりとか、彼らからしたら商品は何でも良いわけで。

伊藤：あー、ありますね。

玉井：今やったら、仮想通貨使ってとか、情報商材を材料にしてみたりとか、言い方悪いけどアホが食いつきそうなものであればなんでもやるから。だから、俺ら消費者はまず騙されないために、こういう騙しとか錯覚とかのね、手法を知っておいたほうがが良いし、あとは騙されなくともその世間のイメージで、投資=怪しいって思ったりすることも勿体無いことで。

伊藤：そうですね。

玉井：自分の可能性を狭めるから。ってまあ、ちょっと話逸れてるけど。あとでね、余談的なもんとして、ICO詐欺とかについても、話していくならと、これはちょっとね、ほんとにバックに一般人じゃない人がおるケースとかあるから、特殊詐欺とかさ、反社会的じゃなく、半分社会

的な人とかね、アンチじゃなくてハーフ。ちょっと叩くの怖いからあれやけど。

伊藤：ですけど、まあ、果敢に真実をしゃべっていきますよ(笑)

玉井：まあまあまあ。で、まあそういう人たち、っていうのはこれまでお金持ちにね、投資詐欺をしかけてたのが、それが今はもうそれがどんどん降りてきてるくて。っていうのはターゲットが、金持ちだけじゃなくて、若者やったりとか主婦とか収入が普通とか普通以下の人とか、もっと分母の多いボリュームゾーンのところに裾野を広げてきてる。まあいいや、こんなんは余談なんで後で時間あつたらあとでやるけど、まあだから、要はさっき言ったこの3パターンが見分けるっていうのが大事って話ね。

伊藤：はい、そうですね。ちょっと整理しておくと、1つ目は「トレードで、投資で、稼いるのか？」
2つ目は「トレードでは負けてるけど投資を教えることで稼いでるのか？」っていうパターン。トータル稼いでるパターン。
3つ目は「教えることもしてなくて、投資関連の商品を売ったり、集客したり、マルチとかで稼いでるのか？」っていうその3パターンですね。

玉井：そうそう。投資の商品の販売代行をしてる人ってことね。まあ、その3つ目の詐欺っぽいやつにフォーカス

してしまったけど。でも、2つ目の詐欺ではないけど、ネットでは上手にブランディングしてるけど実際は全然勝ててないっていう人もいっぱいいるんでね。その3つあるがあるよっていうのを前提にこっからは、そんなのとは全く違う、ちゃんと真っ当に個人投資家として生計立ててる人、職業としてトレーダーをやってる人たち、あんまり表に出てこないから彼らは、ネットで調べても接点持てないような人たち。

伊藤　：ガチトレーダーの方達ですね

玉井　：そうそう。そういうちゃんと力ある人達に限定して話していこうかな、と。っていうのも、そういうトレーダーって、稼いでる人はさ。例えば、めっちゃ有名な人で言ったらBNFさんとかcisさんとか、何百万の元手を何百億にして、みたい。入っておるけど、確かに化物クラスですか。

伊藤　：化けもんでしょう(笑)

玉井　：うん、すごいなーって思うやん。

伊藤　：思いますね。

玉井　：でも、同じような人って、実は表に出てないだけで結構いてる。

伊藤　：あー確かに。

玉井　：っていうのもトレーダーの人って表に出たがらない気質というか、おれらの友だちにもさ、おるやん、すごいやつが。

伊藤　：いますね。化けもんクラスの人が。

玉井　：でも、彼も言ってるけど、やっぱりスキャルピングとかそうやけど、スキャルピングっていうのは何分とか何秒っていう超短期で売り買いするようなトレードスタイルのことやねんけど。そういうのは反射神経とかメンタルとか、かなりスポーツに近いところがあって。だから、ものすごく殺伐としてるというか纖細で「ぼくはこれだけ稼いでますよー！」みたいなこと公に言っちゃうと、それでメンタル変わって手元が狂うんよね。

伊藤　：うんうん。

玉井　：そうそう。まあ表に出ない理由はそれだけじゃないんやけど。それは言わへんけどさ(笑)

伊藤　：まあまあまあ。あんまりゆわない方が(笑)

玉井　：ほんまに結果出してるトレーダーってそもそも性格的に表に出たがらない人多いとかね、あんま下品に稼いでるアピールすると色々目つけられるしとか。まあ、そういう理由とかあって、ホンマに爆益叩き出してるトレーダーとかは表に出てこない。

伊藤　：そうですねー。

玉井　：トレーダーたちのクローズドな集まりとかにしか顔出さないとか。まあ、そんなのすらやらずに1人でひっそりやってる。でも、実力化物！みたいな人もいてるし、だから何が言いたいかって、すげえやつはめちゃめちゃおって。で、なんでこんなこと最初に言うかって、そうやって「え、自分が知ってるよりもすげえ人いっぱいおるんや！」ってことを知ると、「いやめっちゃおもろそうやん！」ってなるやん(笑)

伊藤　：興奮しますね(笑)

玉井　：するやん。まあ、少なくともおれは単純やから最初純粋にそう思ったんやけど(笑) 何百億とか何十億、一桁億なんて入れたらもう日本だけでも何人おんねんって、レベルでいっぱいおるから、テンション上がるやん「うわ、おれもいけるやん！てか、もういけたやん！」っていう調子のるわけやん(笑)

伊藤　：(笑)

玉井　：だから、これもまた前提になってまうんやけど、意外とそういう人はめちゃめちゃおるよっていうね。で、それが個人投資家の魅力というか、まあ投資っていうか投機。リスク取って、短期間で資金増やす、それが個人投機家、の魅力っていうか、投機寄りの投資の魅力。っていう

のも、ネットビジネス、転売・せどり、投資って並べたときに、1人でじゃあどれだけ資産を増やせるかゲームをしましたってなったときには。

伊藤：なるほど、なるほど。

玉井：ネットビジネスやったら、はまあ1人だったら年収3億とかさ、まあ外注使うのはアリでも、1人やったら3億とか5億くらいが限界かなーって思うけど。

伊藤：それでも一般的にはめちゃめちゃすごいんですけどね。

玉井：うん。でも、やっぱそこまでいいたら次にもっとコスパ良いというか別のことやったほうが良かったりするやん。

伊藤：あー。

玉井：で、転売に関しても年商で言ったら数億くらいが限界、年収で言ったら億もいかへんわけでさ。

伊藤：いかないですね。

玉井：でも、投資はたった1人で億超えてますって人はまずゴロゴロおって、何十億、何百億、え、もっと？って資産築いた人たちも結構おったりするっていう。だから、個人が「1人で資産を増やすゲーム」としてみたときに、一番可能性がある。スケール的な意味で。もちろん、その

半面そんな生半可なもんじゃないし厳しい世界やけど、でもそういう可能性ってのが、ネットビジネス・せどりと3つ並べたときの最大の特徴というか、魅力かなと、思うんで。あ、あと、でもこんな事言うと、例えば、「バフェットでさえ、ウォーレンバフェットね、年利20%とかやのに、そんなスピードでお金増えるわけないやんって。投資の神様でさえ年に20%やのに、例えば月利で20%とかあり得るわけないやん」みたいな。ちょっと知識がある人はそう思いがちやねんけど。てか、おれも昔勘違いしてたんやけど。

伊藤：わかります、わかります。

玉井：これはね、元金が違うから、全く競技が違うのよね。それ説明すると大変やから、まあ少し勉強したら分かることなんやけど、弾がでかいとチャートに影響与えてまうとか、すぐ注文通らんし、例えば1兆のお金で2千億稼ぐのと、100万を120万にするのは%は同じでも、%しか同じじゃなくて、そもそも全く違うものやっていう。

伊藤：そうですね。

玉井：だから、普通に100万あったら一生平均月利20%で回せるよー。とかっていう人って実際おるし、スマホがあってトレードさえできたら100万あったら死ぬまで飯食うのに困らんでっていう。もちろん100%ではないけどさ「できると思うけどなあ」って人はおるし。なんなら億まで持っていくでみたいな。もちろん、0になる

リスクあるし、100%ではないし、実際やろうと思ったら大変やし。まあ、狙おうと思ったら、狙えるよって人ってのも事実やし。だから、そういう意味で、個人が資産家になるっていう意味ではもう青天井やから。でも、だからこそ、ビジネスと投資、どっちもの力をつけてる人、その両方を持ってる人が、個人としては最強、って結論になるんやけど、まあそれは後で話しますと。

伊藤：はい。

玉井：だから、まず順番的にはね、今までのは前提やから、めっちゃ長なったけど(笑)

伊藤：(笑)

玉井：じゃあ、まず、初心者の人向けに、「投資ってどんな種類あるの?」っていうような初步的なところからね、順に概要掴めるように説明していこうかなと思うんやけど。えとー、ざっくり種類って言うと、まず最初に、扱うものが金融商品か不動産かにね、分かれるかなと思うけど。で、ここでは主に金融商品の話をしていくと。

伊藤：はいはい。

玉井：それは、不動産はまた競技が違うというか。その投資の世界の王道のルートとしてはさ、まず流動性の高い投資で、流動性の高い金融商品ね、株とか為替とか。そこ

で増やしたお金を流動性の低い不動産に変えていく、っていう1つの正解があるから、つまり初心者向けではないから。

伊藤：そうっすね。つまり、これってハイリスクハイリターンから、ローリスクローリターンに変えていくってことですけど。それは、自分の動かせるお金とか、状況に応じた適切な投資の仕方がありますよねっていう考え方から来ていて、

ちなみに不動産投資に詳しい人が言ってましたけど、例えばキャッシュで2億あったら、今だったら食いっぱぐれないよねみたいなことはゆってて。2億あったら、不動産運用で年間2,3000万くらいは取れるので、生活費はそれだけで十分みたいな。

玉井：あーはいはい、まあ今伊藤ちゃんが言ったことってのは、不動産担保にしたら銀行から金借りれるから、そしたら自分が持ってる資金以上の不動産ゲットできるから、そんくらいになりますよね、ってことやねんけど。

伊藤：そうですね。

玉井：だから、話逸れるけど、よく言われるやつでさ。「毎月100万が100ヶ月に分けてもらえるっていうのと、一気に1億もらえるのどっちが良い？」みたいな質問あるやん(笑) 2chまとめとかで(笑)

伊藤：ありますね。

玉井：あれで毎月100万がいいですって言ってる人結構おるけど、disってまうけどさ、やばいやん。あれほんとは議論の余地ないから。

伊藤：ないです。

玉井：100%一氣にもらえるほうが良くて。まあ、それは今どうでもいいんやけど。でも、そんな人のためにもね、こうやって音声とてるんですけども、何の話やっけ、不動産か。不動産は置いときますと。

伊藤：そうですね。僕も、初心者にはおすすめしないっすね。不動産はキャッシュで買わないと微妙ですし、サラリーマンの人が無理してってゆったら、あれですけど、まあ、今の実力以上の物件を買って運用するってなるとかなりリスキーというか、不動産投資も勝ち負けの世界なんで、それじゃそもそも勝てないなっていうのはありますよね。

玉井：そうそう。相当なりテラシーないと不動産は勝てないと思うし、まあだからそうすると、金融商品1つに絞られるわけやけど。一応、ちゃんと金融商品というものを広く理解してもらうためにも一つ一つ言っていくと、まず、金融商品って聞いて最初に頭に思い浮かぶのが「投資信託」とか、投信ね。が一般的やと思うんやけど、これは省きますと。

伊藤：そうですね。これはどっちかというと自分で、個人で力つけていくぜっていうより、誰かに任せて資産運用してもらうっていう話ですもんね。

玉井：ううう。ただ、投信も良いものはあるし、貯金してるくらいだったら絶対この投信に入れたほうがいいとかってのもあるけど。だから、サラリーマンでなかなか時間が取れないとか、本業が忙しい人とかだったら、イデコとかNISAとかね、っていう投信があるんですけど、それをやるのとかはめっちゃアリやと思うけど。

伊藤：はいはい。

玉井：今回は、そっちじゃなくて、1人でゼロから個人投資家としての実力をつけていくっていうプロセス、選択肢を話したいので、ってことはさ。

「そんな人ってのは、時間があれば一般の投資信託に預けるよりも、自分でトレードしたほうがはるかに上手にお金増やせる人たちであって、そんな世界」のことであって。もちろん、ある程度資産築いてからは国債も買うし投信にもお金入れるし。てか、まじの大金持ちはヘッジファンドにお金入れてるし、一口何億とかで。で、ほんまにそういう人でしか知らない秘匿な情報をもってるわけやん、100万や200万じゃ買えないようなトップシークレットな情報を。

伊藤：大分おもしろい世界ですよね(笑)

玉井　：そう、もう興奮するやん。本物の情報強者やん。

伊藤　：そうっすね(笑)

玉井　：そう。だから、独力でお金を稼げるようになると
か、経済的に豊かになるとか、そのためのトレーダー、
ディーラーの世界ってのがテーマなので。だから、もっと
短期で時間軸短くて、リスクとリターンが大きいもの。

伊藤　：なるほど。ワクワクする系のやつですね。

玉井　：そうそう。投資家として最初自分の力を高めてい
きながら同時にかなりのスピードでお金を増やしていく、
チャレンジングなやつを扱うと。あ、だから保険とかも違
うし、ベンチャー投資とかも勿論別ね。

伊藤　：そうですね

玉井　：まあ、ほんとは個人投資家って投機も投資もどっ
ちもやるんやけど、今言ってるようなルートとしては順番
的には投機が先やから、それを目標にしたというか、究極
言ったら、それをゴールにした世界というか。イメージと
しては、投機っていうのは「買って、売って、逃げる」って
いうイメージで、投資っていうのは「買って、買ったことを
忘れて放置する」っていうイメージ、そういう違いやってな
んとなくイメージしてもらえれば良くて。

で、じゃあ今の踏まえた上で、個人のトレーダーがね、投機よりのトレーダーが、あのーパソコンとか机の上に何画面も置いて、難しいグラフみたいな、チャート見ながらマウスで力チャ力チャやってるー！みたいな、スマホでポチポチやってるーみたいな、そういう人が何をやってるんかっていうと。例えば金融商品で分けるんやったら、ドル円とかユーロドルとかさ、のFXとか外国為替がまず一つあって。んで、個別株ね、任天堂がソニーがアップルがFacebookがっていう、そういう企業の株。んで、そういう銘柄集めた、日経225とかSP500とかっていう、インデックスって呼ばれるものもあって。あ、用語は説明せず普通に使うんで、話進めるために、なので調べてもらうとして。あとはビットコインとかさ、リップルとか、仮想通貨はもう一般的やし。

伊藤：そうですね。

玉井：あとは、小麦とか原油とかのコモディティっていうのもあって。コモディティってのは商品って意味ね、だからぼくは原油のトレードで稼いでますみたいな人もおつて。

伊藤：そうですね。えーだから、海外為替、個人株、インデックス、仮想通貨、コモディティの5つですね。

玉井：そう。あとはー、もうどの株とかさ、どの通貨ペアとかさ、ユーロとドルとか、豪ドルと円なのとかさ、そ

ここまでいくともう星の数ほどあるから。まあ、ざっくりそんなかんじなんやーでOKで。だって、その日本の投資信託だけでも何千とかあるわけで、株もさ、アメリカ株、とか海外も入れたらえらい数になるから。ざっくり5つのカテゴリーで理解してもらってたら良くて。で、じゃあ実際のタイプっていうか、トレーダーによって主戦場とするところがみんな違うんやけど、すげえ表面的に分けたら、例えば、個別株を主にやってますとか、まあ株式投資よね、あとは日経と仮想通貨をメインで触ってますーっていう人もおるし、アメリカ株とかSP500とかダウやってるとか、スキャルピングとかやったらFXって言ってもドル円がむっちゃ強いとか、私はポンドがメインですとかさ。そんなかんじで個々に、自分の得意とするものがあって、例えば、天然ガスとかパラジウムにすげえ詳しい、とかって人もおるし。

伊藤　：(笑)

玉井　：そんなかんじで、みんな自分の得意とするものを持ってるイメージ。もちろん、それは自分で見つけていくんやけど。

伊藤　：そうですよね。

玉井　：で、その上で更に自分の投資スタイルってのもちゃんと確立してやってる。だから話それるけど、独自の投資スタイルを、実践通してね、自分で確立していく、そ

れを貫き通す。ってのはめっちゃ大事なことで、で、それは「おれはこれ！じゃあ私はあれ！」みたいなコンビニでジュース選ぶみたいなもんじゃなくて、もう地獄のようなトライアンドエラーの果てにあるもんやから。

伊藤：そうですね。だから、めっちゃお金減ったり、お金めっちゃ増えたと思ったら次はもっと減ったり、みたいなことを繰り返しながらっていうことですよね。

玉井：そうそう。だいたい凄腕の人は過去に何百万溶かした何千万溶かしたっていう経験をしてるからね、最初の頃にね。だから、それは金持ってたら毎日何百万って上下するよーって当たり前やけどさ、最初積み重ねてる頃に一気に80%資産溶けたみたいな。

伊藤：うわあ。

玉井：で、それってターニングポイントでさ、そこでほとんどの人がそうやけど、メンブレしてやめるのか、それともそこで諦めずに続けるのかっていうところも1つの差やと思うけど。

伊藤：そうですね。ほとんどの人はそこでやめますよね。コツコツ積み重ねたのを一気にドカンって持っていたら普通にむちゃむちゃ萎えるじゃないですか(笑)

玉井：そうそう。だから、初心者の人はちょっと分からんかもしれませんけど、「デイトレです！」とか当たり前やけ

どそんなん投資スタイルじゃないから。「自分にあった投資スタイルで始めてみましょう！」とか言う人とかいるけど、そういうことじゃないからさ、まあそれは話すと長なるから。でも、ほんまに誰か1人のトレードを真似してとかさ、高い金払ってさ「最強FXツール」とかさ、「それだけ稼いでいます！」って言う人ってネットで調べたらいっぱいブログとかSNSとか出てくるけど。そういう情報は最初は意識して排除していかんと、「バイナリーで稼げるんやー！」「学校の勉強みたいに教えてもらったとおりにやったら結果出るんやー」って勘違いしちゃうから、で、それがめっちゃ勿体無いやん。

伊藤：それは、かなり勿体無いというか、そもそもですけど情報の受け取り方も間違ってというか。

玉井：あーまあそうやなー。でも、まあ姿勢の問題もあるけどやっぱ知らないことによるところがおっきいと思ってて。だから、あくまで売買の判断は自分でするものやし、自分の投資スタイルは自分で確立するものやし、っていう前提は非常に大事ですっていうことね。

伊藤：なるほど。

玉井：そう。で、じゃあなんやっけ、あ、色んな金融商品がありますよと。ドル円ーとか、日経ーとか、原油ーとか、とうもろこしーとか。そう、で、「え、とうもろこし？」とか思うかもしれんけど、当たり前やけど、ほんまにとうもろこしを売り買いしてるんじゃないから、その辺

は「デリバティブ」って言葉を理解しないといけないんやけど、まあむっちゃ簡単に言うと。例えば、世界のとうもろこしの需要と供給があるわけでさ、今年はいっぱい収穫できたーとか、不作だったーとか、今年はすごい買う人多いーとかさ。だから、常に値段が上下してるわけよね、リアルタイムで。

伊藤： そうですね

玉井： で、それをちょっと雑に言うけど、予想するわけよ。今年はとうもろこしが穫れる地域の天候がいいぞー！ってなったら「うわーじゃあ価格は下がるかなー」とか。供給増えるから。新興国の経済が今度好調やぞー！ってなったら「じゃあ上がるかなー」とか、需要増えるからね、とか。で、世界の投資家たちみんながそれを予想してるわけよ、もちろんとうもろこし以外の色んなものも。で、それは金融商品やから、例えばとうもろこしって言っても、商品先物って言って、えーっと雑に言ったら、実際のとうもろこしじゃないわけ。

伊藤： 商品先物取引って呼ばれるものですね。

玉井： そうそう。デリバティブの一種やねんけど。これって、金融派生商品って言って、実際のとうもろこしを基準にはしているけど、金融商品としてのとうもろこしっていう、ちょっと難しいねんけど。とうもろこしとは別の、金融の世界のとうもろこしっていう商品であって、ラベルみたいなもんであって。だから、その値段は、その金

融の世界の市場で決まるわけやん。だって、実際の経済の市場、実際の商品、モノを考えたらわかるけどさ、その値段っていうのは商品市場があって、そこで取引されて、値段が決まるやん。

伊藤　：需要・供給曲線で決まりますからね。

玉井　：そうそう。だから、その市場の参加者の人たちの売りたいっていう量と買いたいっていう量の需要と供給で決まる。つまり、値段っていうのはその商品が置かれてる市場で決まるのと同じで。金融市場もおんなじで、金融市場に置かれているうもろこしへいう商品の値段も、同じように金融市場の参加者の売りたい人買いたい人の需要と供給で決まる、っていうややこしいけど。

伊藤　：ちょっとややこしいですね(笑)

玉井　：まあ、言ったら金融商品なんて何でもありやねん。それで稼ぎたい人がおるから、それをね、安く買って高く売って稼ぎたい投資家もおれば、そんなやつらを集めてその手数料で稼ぎたいブローカーもあれば、新しい金融商品を作って儲けたい銀行とか証券会社もあれば、人から集めた金運用して儲けたいファンドもあれば。っていう雑に言ったら、みんなで金で殴り合いしてるわけで。まあFPSみたいなもんで、まじで荒野行動と一緒にやから(笑)

伊藤　：札束の殴りあいっすね(笑)

玉井：そうそう。金で格闘技してるみたいな、めちゃめちゃ金が動くバージョンの荒野行動。

伊藤：なんか楽しそうですね(笑)

玉井：そうそう。別に素直に楽しそうやん(笑)死んだら自分の金減るしそこでキルすれば自分の金増えるっていう荒野行動、やと思えば(笑)

伊藤：まあまあまあまあ。

玉井：だから、たまたまハマったのがゲームじゃなくてFXだったからむっちゃ金持ちになりましたって入っていっぱいおると思うし。まあそれはええけど(笑)で、あとはファンダメンタルとテクニカルって聞いたことある人もおると思うけど。概要だけ簡単に言うと、ファンダメンタルっていうのは、さっき言ったような、経済が好調やぞーみたいな、「発表された経済指標が良かったぞー」とか、「FRBが、アメリカの中央銀行が今度利下げするらしいぞー」とか、「どこどこの国の選挙でどの党が議席増やしたぞー」とか、そういう政治とか経済のニュースとかを元に値動き予想するのがファンダメンタルで、まあ、チャートを、値動きのグラフを作っていく上での基礎的な条件って意味やねんけど、それがファンダメンタル分析っていうやつ。テクニカルってのは、グラフがあって、口ウソク足とか聞いたことあるかもしれないけど市場参加者は全員あのチャートを見てトレードしてるから。

伊藤：そうですね。

玉井：だから、そのチャートは市場参加者の集団心理を表してゐるわけで。だから、チャート分析をする。チャートの中にある人の、集団の、行動パターンみたいなものを読み解くというか、周期とかトレンドみたいなものを読み取って、例えばそのチャートに自分で補助線引いたりして、「このラインまで落ちてきたら買いで入ろう」とか、「でももしブレイクしたら、押し目つけてからエントリーしよー」とか、ちょっと分からんかもしれませんけど。

伊藤：ちょっと難しいですね(笑)

玉井：まあ、そういうパターンを自分で見つけて、売り買いするのがテクニカル。あとはアノマリーってのもあるけど、「Sell in May」とかね、まあこれはいいや。

伊藤：うんうん。

玉井：基本的には、ファンダメンタルとテクニカルっていう2つの視点がある。それも人によってどっちをどれだけ重要視するかとか得意とするかってのが違うっていう。だから、荒野行動で言ったら、マシンガン使うんかショットガン使うんかみたいな、ちょっとたとえ違うけど。まあ荒野行動おれあんまり知らんからね、まあええねんけど。

伊藤　：(笑)

玉井　：でー、じゃあ、その上でどうすれば勝てるのかっていう原理 자체は単純で。例えば、FXやるとして、FXの口座に100万入れといて。で、じゃあドル円を10万通貨、つまり1000万分のドルを買いましたと。で、じゃあドル円が、わかりやすく100円から101円になりましたってなったら、1日で1円ぐらい動くことあるからさ。

伊藤　：ありますね。

玉井　：じゃあ、1000万で買ったドルの価値が1010万になったわけやから、そこで利益確定すれば、まあ売れば10万円プラスになると。じゃあ100万が110万になりましたっでしょっていう。みたいなことをスマホでポチポチ、PCの画面見ながらポチポチやるわけよ。もちろん、こんな簡単じゃないけど。

伊藤　：まあまあまあ。

玉井　：で、え、なんで100万で1000万分買えるの？ってのは「レバレッジ」って言葉を調べると良いと思うんですけど、100万で1000万買うって実質でいうと10倍やん。やけど、10倍とかそんな大したレバレッジじゃないし、

伊藤　：大したことないですね。

玉井　：っていうのも、例えばFXで強制ロスカット食らって借金こさえた！みたいな話聞いたことある人もいるやろうし、そういうので怖い！って思ってる人もいると思うんですけど、ほとんどないから。

伊藤　：ほほないです。

玉井　：どんなに注文がスペっても借金にならない取引所とかもあるし。だから結論、ちゃんとやれば大丈夫で、もちろん0になるリスクは常にあるけど。

伊藤　：もちろん。

玉井　：で、じゃあ個人投資家の人们は日々そうやってトレードして、勝ったり負けたり、増えたり減ったりしながら、資産を増やしていくことを目的にやってるんやけど。例えば、そうやって億り人って言葉聞いたことある人もおると思うけど、仮想通貨で、元手100万を1億にしたとか。まあそれは仮想通貨じゃなくてFXとか株とかでもまあなんもあり得る話で、一生懸命勉強してゲームみたいにのめり込んでやってれば勿論可能性はあるし、もっと増える可能性もあるし。でも、大事なのは、これは誰もが言うけど、減ってもダメージ負わない、究極0になっても大丈夫、なお金でやるべき。だから、そういう意味で専業投資家はさ、ほんまに大変で、

伊藤：いや、えぐい大変でしょうね。

玉井：元手100万で始めて例えば3年で2億にしましたみたいな人ってさっきも言ったけどいっぱいおるけど・同時に、今度その2億を、何年もかけてコツコツ積み上げてきた2億を、1回のトレードで0にしましたとか。

伊藤：うわあ。

玉井：下手打って借金こさえましたって人もいっぱいおるから。損切りできないわけやん。例えば、1億いれてて今5千万含み損ですってなったときに、いややん。5千万失うの。

伊藤：めちゃくちゃいやですね。認めたくないですね(笑)

玉井：だから、ポジションを持ったままにするわけよ。含み損っていうのは、まだ確定してないのね、損が。自分が入れたお金、証拠金に応じて、損をいわば許容してくれるから、つまり、損を確定させるのは自分で注文閉じたときやから、買いで入ったんやったら売ったときやから。でも、持つといたら反転して元に戻る可能性もあるし、なんならもうちょっと待つたら逆にむっちゃプラスになる可能性もあるし。だから、自分でボタンを押さなあかんわけやん。「はい、5千万負けを認めます、残高を1億から5千万に減らしてください」っていうボタンをおさなあかんわけでさ。ってなるとこれはメンタルやん。さっきもさ自分のトレードスタイルってゆったけどさ、自分の作ったルー

ル通りにトレードしても、ここまで上がったら利益確定させる、ここまで下がったら損切りするって、エントリーするときに決めてるわけよね。でも、「いや、今回に関してこれは元に戻るやろ」みたいな思うわけやん。

伊藤：わかりますね。希望的観測しがちっすね。ルール守らずに。

玉井：そう。ほんで、そなならずストーンって落ちたら、全額ぶっ飛んで、証拠金足りなくなって、一発退場っていう。だから、ルール通りに執行できるかどうか、負けを認められるかがトレードにおいてはすごい大事で。で、それは専業よりも兼業のほうが圧倒的に有利なわけで。

伊藤：そうでしょうね。

玉井：300万負けたけど毎月300万入ってくるし、まあええかって人と、専業やから、300負けたら、それで取り返すしかない、生活費もそこから出してる、って人と。でも、同じルールで戦うんやから、そりゃ兼業の人の方が有利になるわけで。

伊藤：圧倒的に有利ですね。

玉井：だから、自分のビジネスを持ってて、もう生活は出来ると、なんならビジネスも自動化してるとか、人に動いてもらってたりして自分には時間がたっぷりありますって人が余剰資金で、ガシガシ増やすぜ！でもなくなっ

ても死なへん！っていう人がやっぱり強いし、ビジネスと投資、この両方を持ってるっていうのが、「個人としては強い」よね。

伊藤：僕は最強やとおもってて、投資においての精神的な安定の部分ももちろんんですけど、ビジネスと投資の両方で見た時も特にそうで。例えば、ビジネスの仕組みを持ってれば、投資で稼いだお金を今度自分のビジネスにぶっこんで、そしたらまた自分のビジネスが成長する、し、売上も上がるっていう。で、投資ができれば、今度はビジネスで儲けたお金を投資に回して、投資でそれをまた増やすってこともできるわけで、その両輪をぐるぐる回せるっていうのがやっぱり最強かなって思いますね。

玉井：そうそう。しかも、負けたら負けたで、専業の人やったらヒーヒー言うけど、このパターンだったら仕事頑張ったらしいわけで。

伊藤：ほんまそうっすよね。

玉井：だから、今伊藤ちゃんが言ったこのビジネスと投資の両輪を回すっていうのが、この両輪を手に入れるっていうのが、個人として、資本主義社会においては、完全に強いわけでさ。MMORPGとかでいいたらさ、むちゃくちゃ好きで昔めっちゃやってたんやどさ(笑) 上級職のキャラ2人持っててそれ2窓で同時にプレイできるからむっちゃ狩

りが持るみたいなイメージよね(笑) ちょっと分かりづらい例えしたけど。

伊藤　：全くわからなかったです(笑)

玉井　：まあ、でもむっちゃ強いわけよ(笑) そういう人って実際結構おるんよね。会社いくつも経営してて、実は投資めっちゃやってますって人とか。自分のビジネスもってるけど、実は投資のほうが収入多いですとか。で、そういうことをさっきも言ったけど、株でやってる、日経でやってる、ビットコインでやってる、為替でやってる、みたいなそれぞれ自分がメインでウォッチしてる金融商品がいくつかあって、日々戦いをしてるっていうイメージ。で、あとは、それらごとの難易度は？っていうのはあるけど、例えば、『個別株→日経→FX』の順にやるのが力つくよ、良いよって言う人もいるし、いやそれは違うって人もいるし、だからそういう情報は参考程度にしかならへんし。

伊藤　：そうですね。

玉井　：さっきも言ったけど、自分で自分の投資スタイルを確立していくってこと。その上でルール通りに執行すること、”負けを認められること”が大事なので、

伊藤　：まあ、もう本質はシンプルですからね。

玉井　：そう。まあこんなことはどんな本読んでも書いてることやねんけど。でも、理解したことと実際そう振る

舞えるかには鬼のような隔たりあるから、投資は特に、だからおれもこんな偉そうにゆつてるけど、実際たいしたことないし(笑) まあ、残念ながら最強になるけど。どうでもいいんやけど(笑)

伊藤　：(笑)

玉井　：だから、何が言いたいかって、投資ってそんなもんやから、みんなにとっての勝ち方なんてないから。トレードは自己責任やから、自分で売買の判断ができるないなら100%勝てるようないから。この投資信託に入れといたら良いよって友だちに勧められたとかさ、この最強FXツール使ったら稼げるとか、この株のスクールに参加したから、高額なオンラインサロンに入ったからミラートレードしたから、真似したら稼げるとか、一時的に増えることはあっても、絶対に負けるから。で、それを絶対に知っておいてほしい。だからその、自分でね、投資おもうそうやん！と、やっていこ！ってなったときに、注意したいのは、例えば株のスクールとかFXのコミュニティとか、自動売買ツールとか、そゆのってネットで調べたら溢れかえってるけど。詐欺まがいのやつは一旦置いといても、良いものだって沢山あって。で、これは冒頭でも言ったけど俺ら投資でブランディングするつもりないから。

伊藤　：そうですね。

玉井　：ほんまにぶっちゃけて言うけど。「このツール買ったのに稼げませんでした！詐欺や！」って掲示板とかで騒いでる人も、逆に「このスクールに参加すれば稼げるようになります！」って謳って売ってる人もどっちも悪いのよ。てか、俺は世間と比べたらまだ販売者に味方してあげたくなるくらい。でも、彼らは絶対、言えないからおれがちょっと言うけど。稼げなかったって騒いでる購入者まじで頭弱すぎで。ほんまにぶっちゃけたけど。

伊藤　：ほんまにぶっちゃけましたね(笑)

玉井　：これカットせんでええけど(笑)で、あのー、これだけやと悪口なるからちゃんと説明するけどさ。まず、販売者の何が悪いか？っていうと、さっきも言ったけど、自分で売買の判断ができるってのは絶対的なもう原則やら。それは販売者もよく分かってるわけやん。でも、売りたいから、いっぱい売りたいから、ツールとか教材とか、そんなこと知らない人にも売っちゃおうと、言うとおりにしたら稼げるで！このツールが自動であなたのお金増やしてくれるので！って言ったら、これ聞いてくれてる人は「いやそんなん怪しすぎて食いつかへんわ(笑)」って思うと思うけどさ。実際めちゃめちゃ売れるから。

伊藤　：そうなんですよね。

玉井　：残念なことにボリュームゾーンはそこにあるから。だからそうやって誤解を生むような表現で売るから、悪い

のよ。でも、彼らをかばう訳じゃないけど、中身は良かつたりして。自分で売買の判断ができる、っていう前提やと、だから自分で売買の判断ができる人が、そのツール使ったら確かに稼げるのよ。じゃあそれは良いツールやんっていう。実際、今回焦点当ててるような個人投資家の中にも、そういう最強FXツールみたいな市販のやつ使ってずっと稼いでる人もおるから。もちろん、自分のトレード理論があってツールいじってる人とか自作してる人も多いけどさ。

伊藤　：はいはい。

玉井　：だから、ちゃんと力ある人が使えば、怪しそうなツールもむっちゃ便利なツールやったりする。そういう意味では、詐欺ツールなんてあんまりないと思うし。

伊藤　：なるほど。

玉井　：だから、そういう意味では情報商材と一緒にでき、最近は怪しい情報商材って少なくなったけど、おれがネットビジネス始めた頃はいっぱいあったのよね。で、みんな騒いでるわけよ、稼げなかった！詐欺や！みたいな。でも、あれ稼げるから。確かに中身が不親切やったり表現がこう錯覚を起こさせるように作られてはいるけど、だから例えばおれが、適当な怪しい情報商材をランダムで渡されて、これ使って稼げ！って言われたら、絶対稼げる自信あるもん(笑)

伊藤：いや、ぼくも過去にいっぱい買ったことがありますけど、売り方がかなり下品なやつでも、買ってみたら意外とまじで普通に結構ええこと言ってるやんみたいな(笑)

玉井：そうそう、だからそれと一緒にやから、ツールも。で、やっぱりこういう性質の商品を売るってなると、どうしてもこういうことは起きるから。だから、販売者は利益追求することも大事やけど、同時にやっぱりリテラシーの低い購入者には買わせない努力っていうのをしないといけないって俺は思ってるんやけど。だから、これから何か教材とかスクールとか使って学んでいこう！って思ってる人は、その視点で色々見てみるといいかなと。投資は特にリテラシー低い人が多いから、日本人は特に。視点としてはちゃんとそんな人に買わせない努力をしてるかどうか、錯覚起こすような表現とか、ちょっと口悪いけどアホ向けてマーケティングしてないかどうかっていう。普通はさ、そんな販売ページとか見たら、「馬鹿にしてんか？」って思うと思うから普通にの感覚持ってたら、その視点で見てみると、もっと中身の良いものと出会えると思うんで。

伊藤：ほんまそうですね。ただぼくは、ツールに頼りたいっていう気持ちは分かるというか。実際、僕も20才くらいの時に、ツールじゃないんですけど、ミラートレードみたいなものに依存してやってた時が一瞬あって、1ヶ月くらいなんんですけど。今考えたら訳わからん思考なんですけど、確か10回くらいのトレードで、週利、まあ週の利

益率が20%とか出たんですよね。「やったーこれ続けたらめっちゃ稼げるやん！」みたいな。そんなこと絶対ないのに。で、一回のたまたまの1週間の勝ちを意味不明に拡大解釈して、その週利20%でずっと回し続けた前提で計算して、毎月の旅行の計画までしてましたからねw

なんなら、友達にも「こんだけ稼げるから、いこうぜ」みたいな感じで連絡してましたからね(笑)でも、そういうのはないんで(笑)

玉井：ないね(笑)

伊藤：あー、あと、ツールとかを売っている業者の方といふか、仕掛ける側の人と話しても、玉井さんもさっき話してましたけど、そういう売り方しちゃうっていうのがやっぱり元凶で。もう労働しなくても良いんです！これだけに頼れば良いです！みたいな、売り方をするから。で、やっぱり、投資について無知の状態でそうやってゆわれたら、「あ、そりなんや」って思っちゃうっていうと思うんですね。あとは、ぶっちゃけ、ツールもそうですし情報とかもそうですけど、良いものは、上流だけで回ってて、下流に流れされてくるのは、「この程度のものはまあ、大量に誰にでも流してもええかな」ってものだけやったりするっていう。

玉井：あーそうやね。これはもう投資に限った話じゃなくてなんでもそうやけどさ、ほんとに秘匿な情報っていうのはあるからさ。この世界にはいっぱいあるから、だから

やっぱりツールとか情報に頼らない、何度も言うけど、売買の判断は自分でする、ツールも情報も使い方次第。っていう心構えが何より大事で。だから、その判断とか使い方とかっていう、そもそも投資力を高めていくっていう意思がないなら、そもそも投資はやめたほうがいいし、逆にその意思があるなら、投資はめちゃめちゃおもしろい世界やと思うよっていうことよね。

伊藤　：うんうん。

玉井：そう。で、じゃあ今度「その前提だったら詐欺って実はないの？」ってことになるんやけど、めちゃめちゃあって(笑)その辺ね、引っかかるないようにするにも、どんな業界なのかってところね。で、それは伊藤ちゃん詳しいからちょっと話してほしいんやけど。

伊藤　：そうっすね。

玉井　：って言ったら伊藤ちゃんが詐欺師みたいやけど(笑)

伊藤　：いやいや、違いますよ(笑)

玉井　：違うんやね(笑)

伊藤　：一応、ちゃんと言っておくと、詳しいのは、あのソシアルとは別に、まあこの活動とは別に、共同で会社やってる人がいて、その人が過去に仮想通貨のICO成功させた人なんで、さすがに名前は言えないですけど。

玉井：あ、それはICO詐欺じゃなくて、真っ当なICOってことね。

伊藤：そうです。シンプルなICOですね。で、あとは結構ぼく、ビジネスの勉強として怪しいセミナーとかも潜入したりするの好きなんで、そこで実際に闇とかエグい部分を見てきたし、これまで周りの人から相談されてきたんで。

玉井：そうそう。だから、別に伊藤ちゃんがマルチとか詐欺とかの人ではないし周りにそんな悪い人いるわけでもないですよっていうね。

伊藤：そうですね(笑) それが言いたかっただけです(笑) で、まあそれはいいとして、今ICOって言いましたけど、ICO詐欺、つまりICOするって言つといてしない詐欺ですね、とかが一番一般的で。で、あとははっきりと詐欺なのか、詐欺まがいなのかってところの線引きって結構難しいんで。だから、一旦それは置いとくとして、ぼくらにとって、特に初心者の人とかあまり投資の知識に明るくない人にとって、こういうものには引っかからないようにしたいよねっていうくらいでいうと。

玉井：そうやね、その辺絡み合ってるから、シンプルなICO詐欺もあれば、ちゃんと上場はしたからICO詐欺ではないけどちょっと、みたいなやつもあれば。それにマルチ組

み合わせてとか、でもマルチ自体は悪いわけじゃないんや
けどやり方がちょっと、とか(笑)

伊藤　：ややこしですけどね(笑) まあなのでその辺はざっ
くりとさせた上で、代表的なやつで言ったら、ICO詐欺、仮
想通貨マルチ、ハイプとかの投資案件、の3つかなどおも
うんですけど、まあこれらみんな似たようなもんなんですね。
まず、仮想通貨マルチもだいたいのICO詐欺も、投資
案件を売っている人の稼ぎ方も全部古典的なもので、言っ
ちゃえば、投資で儲けているんじゃなくて、紹介料で儲け
ているんですよね。で、その上で、中身が、MLM、ネット
ワークビジネスと同じようなものなのか、普通にガチの詐
欺まがい、もしくは詐欺かっていう。割とはっきりいっ
ちゃいますけど(笑)

玉井　：悪意あるかないかってことね。

伊藤　：そうです。だから、もちろん、仮想通貨自体が詐
欺や！ってゆってるわけじゃなくて、ってその次元の話は
もう言わなくてもいいかなと思いますけど。だから、世の
中に新しく登場した仮想通貨っていうものを使って、悪い
こと企んでる人がいるよって話で。その人達は、その前は
別の何か、仮想通貨以外の何かを使って悪いことやってた
人なわけで、だから詐欺のツールとして使われてしまってい
るって意味では仮想通貨も被害者というか。

玉井　：うんうん。

伊藤：で、「仮想通貨ってそもそも何ですか？」って前提から話し始めると、さすがに時間かかりすぎるので省きますけど。まあ、でもビットコインとかイーサリアムとか有名なやつは聞いたことあると思うんで。で、そういう有名なものって上場してるんですよね、仮想通貨取引所に。つまり、上場してないものっていうのもいっぱいあるわけですよね。聞いたことないコインとか入れたら数え切れなくなるくらいあるわけですよ。んで、ICO詐欺っていうのは何かって言うと、まずICOって株でいうところのIPOであって、株式会社が東証一部とかマザースとかに上場することをIPOって言うんですけど、ICOっていうのは仮想通貨が上場することなんですよね。

玉井：うんうん。

伊藤：で、例えば株だったら、未上場の株、未公開株の段階から持ってて、それが上場した時に結果何十倍とか何百倍とか、アメリカとかでは1万倍に跳ね上がるってものもあるくらいで。だからみんな未上場の状態で買えるならその段階で買いたいっていうのがもちろんあって。

玉井：昔からあってね。

伊藤：はい。だからこの未公開株の詐欺ってのは昔からあって、それが仮想通貨に変わっただけなんんですけど、

やり口は簡単で、最初っから上場する気なんてないのに、上場間近です！何十倍になりますよ！って言えばいいわけで。まあ、事業計画とか、そんなん素人分かるわけないんで、だから、適当にいかにもそのコインにすごい良い未来があるかのように色々な切り口で説得して、絶対儲かりますよ！って言えば、しかもそれがさぞ貴重な情報かのようだ、「こんな普通知らないですよ」って言われたら、やっぱり買う人はいるわけで。で、そうやって集金だけして、実際に仮想通貨のコインは渡すけど、そんなもん上場しなかったらゴミなんで、電子ゴミなんで。そうやって日本円とか、ドルでも良いんですけど、集金だけしてトンヅラするっていうのがICO詐欺ですね。

玉井：そうそう。だから、上場決まってるんです！するんです！ってウソついて集金してるところが詐欺であって。だから上場したけど値段が100分の1になった！みたいなのICO詐欺じゃないもんね。

伊藤：そうっすね、セールスにおいて、そのセールストークにおいて別にウソついてなかつたらそれは単純に買った人の投資判断が間違ってたってことにもなるので。

玉井：そうそう。

伊藤：で、まあ、そんなICO詐欺以外にも、詐欺かどうかは置いといても引っかからないようにしたいものってのは

たくさんあって。仮想通貨とMLMとかハイプ、ポンジスキームを絡めたようなものが流行ってたり、仮想通貨だけじゃなくて今後も色々な金融商品と絡めてやっていく可能性あって。

玉井　：あー、その人らがね。

伊藤　：はい。その辺も言っておくと。大体あのー、よくわからん兄ちゃんが勧誘してくるやつなんんですけど、例えば、1回知り合いがそういうのに勧誘されてたことがあって、で、ちょっと一緒に話聞いて見極めてほしいって頼まれたことがあったんですよね。そんときの流れを言うと、まず「この仮想通貨を買ってくれば、会員になれますよ。権利収入として配当をもらえるようになりますよ！」ってゆうてて。ほんで、「この仮想通貨を紹介したら、タイトルがあがって、それによって配当がもらえる%も上がっていくよ！」みたいな。それで、さらに「上場した時はめっちゃお金儲かるよ！BITCOINにおきかわるCOINなんだ！」みたいな(笑)極めつけは、「この通貨は、アメリカの伝説の資産家、なんちゃらロジャーさんが作ったやつで、日本に上陸したばっかりなので今のうちに買っておいた方がいいです！」っていう、その言われた名前英語で検索しても1ミリもでてこなかたですけど(笑)

玉井　：確かになんか海外よく使うよね。

伊藤　：よく使いますね。

玉井： どこどこの国が認めてます！みたいなやつとかさ。

伊藤： そうっすね(笑) で、このロジャーさんのやつの場合はホワイトペーパーすらなくて、いやロジャーさんICOする気ないやんっていう(笑)

玉井： あ一普通にICO詐欺かつマルチっていうパターンか。

伊藤： そうですね。まあ、正直、お金を集める為に頑張ってストーリー考えるなあ、ってかんじでしたね。なのでこれはもう仮想通貨とはまじで関係ないただのマルチで、でも上場するってウソついてるっぽいから詐欺やるなあってかんじですよね。あとは、おんなんじのような手口で、投資案件とか運用の話とかもあって、日本円とかドルとかで、それがハイプって呼ばれるやつで。これは単純にむっちゃ利回りの良い商品を紹介してくるってパターンなんですが、大体日利1%以上のもので、日利1%って、100万入れてたら1年後には複利で3800万くらいになってる計算なんで、まあほんとだったらめっちゃ嬉しいんですけど(笑)

玉井： そうやな(笑)

伊藤： 基本的に、ハイプは大体どっかで破綻するので。で、もちろん、破綻した時は、お金なんてかえってこないですよね。だから、高配当を謳って資金を集めて、その資

金で運用して、また集めて、ってやっていくと、どっかできつくなっちゃう。で、「もうやばい！」この線引きで、やめとこってラインがあるんですよね。そこにいくと、そのまま会社ごと高飛びするみたいなパターンですね。で、ハイプ自体は法律上問題ないんですけど、もっとエグいのは、ポンジスキームっていうのがあってこれははっきりと詐欺なんんですけど、ハイプの場合って、やばいハイリターンハイリスクんですけど、集めたお金ちゃんと運用してはいたりするんですけど、ポンジスキームは、そもそも運用すらしてないっていう(笑) どんなものかって言うと、まず最初投資家に、資産運用するからお金投資して欲しいって声かけるわけですよね。

玉井：ファンドを装うわけね。

伊藤：そうです、それも日利1～2%とか言って(笑) まあ実際には運用しないんですけど。で、それをどんどん増やしていく。で、どういう風に増やすかってゆえれば、例えば最初の人をAさんやとしたら、2番目の人をBさんとして。ってもう勘良い人ならわかったかもんですけど、Aさんの人には、配当として、Bさんから預かったお金を配当として渡すんですよ。で、ちゃんとAさんはそれを画面上だけじゃなくて実際に引き出せるわけですよ。

玉井：Aさんは、ほんまに運用して増やして、配当されたんやって思うわけね。

伊藤：そうですそうです。で、その上でAさんに、「誰か紹介してくれたら紹介料も渡しますよ！」みたいなことを言ったら、Aさんからしたら、日利1~2%とかで実際お金も引き出せてるから「やばい案件みつけた！」ってなって。で、AさんがそうやってどんどんCさん、Dさんって捕まえていく。で、BさんにもCさんにもさっき同じ理屈で配当としてお金を渡して、これを拡散させていけば、えげつい勢いでお金が集まる。って流れですよね。で、実は引き出せるのは最初の何%かだけで、あとは配当引き出せずに、PCとかの画面上だけお金増えてるように見せかけて、最終的には、MAXお金集まったなってなったら、ポンジスキームをやってる人がトンズラするっていう。で、こうやって他人のお金を運用する。つまりファンド作るのってそもそも金融庁の許可がいるんで、なのでこういう話が来たら、その登録番号教えてくれって言ったらいいとか(笑)あとは、まあそんな意地悪しなくとも、金融商品取引業者の一覧って金融庁のサイトに載ってるんで、普通に確認したい場合はそれ調べると予防線になるかもしれないですね。

玉井：で、こういう類のもの、もっというと特殊詐欺とかっていうのもやけど、ほんとにこうやって説明したら「あーはいはい」ってなると思うんやけど、彼らはプロだから、実際目の前にしたときに意外と引っかかる人多いから、ってこんな事言うとなんか詐欺撲滅みたいな音声なってるけど(笑)

伊藤　：たしかに(笑)

玉井　：別に、彼ら叩いても仕方ないんで、なくなるわけがないから。だから、どっちかというと消費者のリテラシーを問題にしたくて、ほんとにずっと喋ってきたけど。ツールが、バイナリーが、未公開株が、マルチが、ICOが、とかさ、色んなワードを、全部世間のイメージだけで判断する人たち、っていうのがいっぱいいて。やっぱりその根本には、日本人が世界と比べたときに、例えば世界の先進国と比べたときに、極端に金融リテラシーが低い、お金とか投資とかに対する考え方のレベルがまじで低いってのがあって。

伊藤　：意味わからんくらい低いですからね。ある意味それって、洗脳みたいなもんですよね。

玉井　：そう。過激な言い方するけど。でも、普通に洗脳やから。元たどっていいたら、日本人の働き方とかお金に対する価値観って、中国から来てる儒教的な発想と、アメリカから来てるキリスト教的価値観の悪いところが混ざってたものみたいな。で、そのパラダイムで多くの日本人は生きてるから、やっぱりそこを自分で変えないと豊かになるって難しいと思うし。ってちょっとそもそも論すぎるけど、まあ言ったら、リテラシーが低くしてくれたほうが得する人たちがいるわけでさ、国民に金融の知識をつけられると困る人達がいっぱいいるわけやん。誰とは言わんけど。

伊藤　：そうですね。

玉井　：例えば、さっきのはさ、明らかに怪しい金融庁の許可もない組織とかやったけど。例えば、銀行は安心安全みたいな、プロなんやから言う事聞いといたら大丈夫みたいな。ほんと窓口でさ、投資のトの字も知らんお姉ちゃんに投資信託の営業されてさ。みんなホイホイそこにお金預けるわけやん。めちゃくちゃな手数料払って。

伊藤　：やばいっすからね(笑)

玉井　：預金残高見てこいつ金持ってるなって思ったらしつこく営業してくるみたいなってさ。怖すぎやん、でもみんなめっちゃ買うやん。ほんと、そんな人ほど為替とか株を自分で取引するなんて怖い危ない！言うてるみたいな。そんなもう話通じひんレベルの人が世の中にいっぱいおって、まじかよこの国オワタってかんじやけどさ(笑)

伊藤　：(笑)

玉井　：そう。だから、困る人がいるわけよ。金融の知識をつけられたら。なんで、アメリカとかイギリスはね、義務教育で投資を教わるのに、日本は義務教育で投資とか金融を一切やらないのかっていう。なんか熱く話してるけどさ、むしろ楽して稼ぐのは儲かるいことで、預金が正義で、継続的な安定収入が安心やって刷り込まれて、じゃあどう

なるのかっていう、従順な労働者が出来上がる、っていう。

伊藤：まあ、そういうのは戦後の国の方針の名残ですもんね。確かに、その頃は正しくて、その結果日本が経済大国になれたわけなんんですけど。

玉井：そうそう。昔は、貯金してるだけで金増えた時代やから、でも今は完全に違うくて。でも、今だにさ、汗水たらして働いた稼ぎをさ、銀行に預けて、投資信託も買いますってろくに調べもせんと、銀行に勧められたやつ買って。んで、銀行は上がろうが下がろうが手数料で儲かるわけでさ、ローンも組ませていただきます言うて、ローンで一軒家買うのが1つの成功の形みたいな。サザエさんの洗脳をされて、ほいでどえらい金利でどえらい値段の家買わされて、しばらくして住宅バブル弾けました、おわたーっていう、家なくなります、自己破産しますっていう(笑)

伊藤：うわあ(笑)

玉井：まじででもほんまにそうやん、リーマンショックんときに銀行が何をしてたかっていう、元凶誰ですかっていう。

伊藤：あれはひどいですね、ほぼ詐欺でしょあれ(笑)

玉井：そう。銀行が一番の詐欺業やってね、言う人も世の中にはいるけどさ、ぼくは言ってないですけどね、ぼく

はいつもお世話になっておりますけど(笑) まあね、話逸れまくってるけど、だから、個人が金融とか投資のリテラシーを上げることの重要性ってのは、自分でビジネスやっていこうって人なら尚更ね、勿論、トレード手法云々も大事やけど、経済とか金融の最低限の教養というか、教養ってほどでもないけど基礎的なことってのはしっかりふまえておくべきやと思うし、投資始めるにしてもさ。

伊藤　：そうですね。

玉井：で、別にこれ投資が怖いって言ってるんじゃないから。真逆やから、知識がないことってのがとても恐ろしい、ってことであって、ホラーなのであって、そこは絶対に勘違いしたらあかんくて。で、もうちょっと言うと、そんな個人が今、どんどん金融とか投資のリテラシー上がる方向に進んでるわけやん。仮想通貨の影響とかもあって、で、それ自体はめっちゃええことやねんけど。だからこそ注意しないといけなくて、もし俺が詐欺師やったら。

伊藤　：ほうほう。

玉井　：これから数年ってタイミングで思いっきり投資詐欺やると思うし、だってそんだけ多くの人が、無知な人が今までってなかった「怪しい」って思ってた投資に興味持ち始めてるってことやから、それは力モる側の視点に立ったら、ボーナスステージやから(笑) 力モネギやん(笑) 鴨がネギしょってきてるみたいなさ。

伊藤　：(笑)

玉井　：だからこそ、投資とか金融については、ちょっと話膨らんでもうてるけど、別にトレードの世界に足を踏み入れなくとも、やっぱり自己防衛として学んでいく必要があると思うし、自分でビジネスをやっていくなら尚更、投資の考え方とかって実践的なものとして。つまり、売上が上がるとか上手くいくとかそういう意味で学んだほうが良いと思うし。あとは、まとめに入ってるけど、個人的にめっちゃ良いたいことがあって、多分ドンピシャな人もいると思うから、俺と似たタイプの人とかね。

伊藤　：なるほど。

玉井　：で、それがやっぱり、自分自身ほんとに痛感させられたことやねんけど。例えば、おれもさ、もうずっとネットビジネスをやってきたけど。で、それって個人で稼ぐっていうさ、パラダイムで生きてきたわけよね。で、まあネットビジネスもせどりも投資も全部一緒で、まあ個人で起業するっていう前提なわけやけど。それでその一、俺もそうやし今まで教えてきた人、生徒さんとかコンサル生とか含め、例えば、経済的にはまあまあ豊かになりましたと。「月何百万とか稼いでます」みたいなさ。で、月何百万が成功かっていうと人それぞれやけどさ。まあでも、一般的にはすごいとされるわけで。で、でもやっぱりこれくらいだったらさ、まあぶっちゃけイケるやん、やってたら。

伊藤：いきますね。

玉井：俺らの周りとか生徒さんとかにも結構おるやん。

伊藤：そうですね。大学生で結構稼いでるって子とかも多いですよね、最近は。

玉井：そうそう。別に簡単って言ってるわけじゃなくて。

伊藤：もちろん。

玉井：でも、まずはやっぱり、こういう音声もそうなんやけど、「このレベルやったらあなたが思ってるより全然いけるんやで？」っていうかさ、実際というか、感覚的なところ。いや、勿論努力はするけども、それを伝えたいというかさ。てか、なんかこういう業界の1つ気持ち悪いなあっておれがずっと思ってることがあって。それが、「月何百万と、年収何千万と稼いでます！しかもほぼ自動で！」みたいな人をさ、すごいありがたがるというか崇拜するというか、あるやん？(笑)

伊藤：なんなんですかね(笑)

玉井：「すごいです！勉強になります！」みたいな「おめでとうございます！」みたいな、「お手本にさせていただきます」みたいな(笑)

伊藤：あります(笑)

玉井：その雰囲気がすごい俺嫌いで。

伊藤：俺も嫌いっすわ。

玉井：それやってもうたら、逆に遠ざかるやん、ゴールが。で、それは発信してる人間がそんなある種の神ブランディングをしてるからやと思うんやけどさ。でも、それしてしまうと、遠くなるやん。なんていうか、そこ階段10段ぐらいしかないのに、まるで100段あるかのように言いますやんみたいな(笑)ほんで、俺はむっちゃ努力して、もしくは才能があって、100段登りきったんですよ。みたいな。そういうこと直接は言わんけど、暗にそんな「私すごいですよ！」みたいな、「そんな私についてくればあなたも大丈夫ですよ！」みたいな興味付けをする、でもそれってブランディングはできてるけど、見てくれてる人の相手のセルフイメージ間接的に下げるやんっていう。

伊藤：そうなんですよね。

玉井：まあ、そういう人が多いなあっていう、俺の見方ね？で、そういう雰囲気が苦手というか、だから俺の考え方としては真逆で、「いや、そんなたいしたことないで、いけるで」って俺らみたいな立場の人は、そうやからこそ、そう言い続けるべきやろ！っていう考え方やから。そういう意味でね、まあ、ぶっちゃけ楽勝やねんけど、個人で起

業するだの、自分で飯食っていくだのなんて。でさ、その楽勝なプロセスを経たとしてさ、ちょっと先の話になるかもしけんけど、じゃあさっき言ったような「月100万200万稼げる」ってなったらなったで、今度、そこで悩む人が多くて。

伊藤　：あーなるほど。

玉井　：俺も勿論むちゃくちゃここで悩んだけど、「いやこれずっと続けていって何になるんやろう？」みたいな。まあ、ちょっとここをちゃんと伝えるのは時間かかるから、まあでもそういう時期って結構みんなあって。

伊藤　：そうですね。

玉井　：まあ、受験で言うところの燃え尽き症候群みたいな。次おれ何目指そうかなみたいな、自分の信念って何やろ、向かいたい方向ってなんやろみたいな、そういう抽象的な悩みと向き合うタイミングってあって。で、その答えはいくつもあるんやけど、おれも個人的にはいくつも自分の内側に課題があったんやけど、その1つとして、こう、色々と人に会う中で、経営者とか投資家とか、言ったら資産何百億もってますーとか年商何十億ですーみたいな人とか、その中でも人間的にリスペクト出来る人ね、と一緒に遊んだり飯食ったりしてるので、気づいたことがあって、「あ、この人ら全然おれと視点が違うわ」っていう。つまり、おれがめちゃめちゃ低いわけよ当然やけど。

伊藤　：なるほど。

玉井　：ビジネスの話しても、全然視点高い、マーケティングを深く理解してるとか、っていうより、もちろん深く理解してるんやろうけどさ。なんていうかこれはもう体験しないと伝わらんことやけど、別に勉強ができるとかではなくて、感覚が違うんよね、生きてる感覚が。

言語化難しいけど、例えば、生きてる範囲が広いとか、ダイナミックとか、世の中の仕組み、客観的にシステムを理解してるとか、資本主義社会で前提でめっちゃおもろそうに生きてるなあみたいな。だからそういう人って、国際情勢とかさ、世界の動きってのがさ、普通に生きてたらあんま関係ないやん、そういう難しいニュースってさ、何か起こっても別に自分の日常にはほとんど影響せーへんし、だから言ったらちょっと他人事やし、なんなら新聞なんて読まないしっていう人も多いわけやし。でも、それが、その人達は自分の仕事とか日常とつながってて、もちろんだから常にウォッチしてて。で、知識、っていうかゲシュタルトがやっぱり圧倒的に違う、言ったら政治経済とか宗教とかさ、歴史もそうやし、地政学とか、もちろん金融とか法律とかも、そういう教養っていうのがあって。っていうか別に教養ですらなくて、もう実生活と絡んでるから。

伊藤　：たしかにたしかに。

玉井　：ほんとに必要な知識として武器として持ってるっていう。で、それを、「うわまじでそれや」ってドーン！って自覚したことがあって。で、純粹に「そういうのめっちゃかっこええやん！」って思ったんよね。だから、俺は投資始めたきっかけは、投資で稼ぐぜ！っていうよりも、もちろん、やるからには稼いだるぜっていうのはあったけど、次のステージとしてはそっちの世界にいきたいっていう。

で、そのためにはめっちゃ勉強せなあかんけど、じゃあそんな世界経済とかさ、世の中全体の仕組みとかさ、っていうのが自分にとって身近なものになる、手っ取り早い手段として、ツールととして、「あ、投資や」って思って、それがキッカケで始めたから。で、実際勉強していくと、まさにこの世界は、金融とか投資で動いてるから、だってニュース見たってさ、例えば新聞読んでもさ、ほとんどが金融と、あと安全保障と、テクノロジーの話やし。で、これって結局は「お金の動き」やから、むっちゃ当たり前やねんけど(笑) でも、例えば若者に人気の経営者とかさ、孫正義とかザッカーバーグとかさ、みんな知ってるような人気有名企業とかさ、投資で動いてるし、投資で稼いでるわけです。ソフトバンクなんて明らかに投資会社やし、マクドナルドだって不動産業なわけです、金融の世界で動いてるお金の単位って、京やから。全部の投資家、だから大手の金融機関とかだけじゃなくて、一般個人投資家とかも入れたら、その株とか債権って、単位はそれぞれ兆じゃないか

ら、お金に直したら。で、それって男の子とかはさ、単純にさ、アホやから「うわすげえ！」ってなるやん(笑)

伊藤：なりますね(笑)

玉井：で、その複雑な動きっていうのをシンプルに見れるようになりたい！ってなるやん。てか、なったわけよ。で、投資をやればそれが自分の利益と直結するわけでさ、むちゃむちゃ簡単なので言ったら、例えばじゃあ「中東で、ホルムズ海峡で軍事衝突があったよー」ってニュースがあったとして、今までではそれ他人事やったけど、トレードやってれば、「うわ原油上がるやん」とかさ。

伊藤：そうですね。

玉井：「あ、リスクオフになるー」ってなったら「円高やー」とかさ、じゃあ「日経は下がるー」とかさ。そういうのがめっちゃ面白いなーっていう、きっかけで始めたから、だからちょっと最後本編からはずれたけど(笑)俺と同じようなモチベーションで「うわ、まじでおれもそれやわ」って人もいると思うんでね。特にこれ聞いてくれてる、既にもう自営業でしっかり稼げてる人とかにはね、シンプルにおもろいから勉強やろうぜ、しようぜっていう、ことですね。

そんなかんじで、かなり長い音声になったと思うけど、色々喋りすぎて最後まとめるんむずかしいけど。まあ、投資とか金融のリテラシーの話やったり、ICOとかICO詐欺と

かね、怪しい投資話についての話やったり、専業より兼業のほうがいいよーとかね、これから始めようか考へてる人にとって大事な視点とかね。まあ、色々語ってきたけど、個人投資家としての働き方とかその魅力っていうのにはしっかり迫られたかなと。プラス、その上で、ちゃんとこれから、自分でビジネスを作っていくとか、起業力、ビジネス力をつける、投資の場合は、個人で資産家になっていくっていう、もちろんトレードの世界は殺伐としてて厳しい世界やけど。

伊藤： そうですね。

玉井： その可能性というか、選択肢の1つとして、投資の世界に明るくなつてもらえたなら、嬉しいですと。実際にやっていく上で必要なマインドセットというか、ポイントってのもかなり喋ったと思うんで、書き起こしとかもあると思うんで、そういうのも使いながら、しっかり自分のものにしてもらいたいなと思います。

というわけで、ネットビジネス、せどり、投資と喋ってきたけど、まだまだね、色んな資料とかもっと具体的な話とかもコンテンツとして配っていくと思うので、そっちのほうもしっかり学んでもらって、知識を広げて、深めてもらえたたら、

「こんなに自分の将来というか、未来って、広い世界が広がってるんや」

っていう、もちろん自分で何かを始めるっていう選択を取らないといけないけど、その選択を取れば、そこに世界が広がってるんやってことが伝わったら、良かったかなと。思いますと。

伊藤　　：はい。

玉井　　：まあ、そんな感じで引き続き勉強していきましょうということですね。

伊藤　　：そうですね。

玉井　　：はいじゃあ、今回は以上ですね。ありがとうございました！

伊藤：ありがとうございました！

オウンドビジネスの地図～個人投資家～